

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 2 年 11 月 30 日

公表: 令和 2 年 12 月 10 日

回答: 4名/4名中

事業所名: 児童発達支援事業所 空

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%		法令に従い確保しています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切である	100%		・子どもの状態に合わせた職員配置を行なっています。 ・子どもたちに怪我のないように適切に配置されています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%		・子どもの荷物を置く棚に写真付きのかごを一人ひとり準備し、タオルを掛けるフックにも名前をつけています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%		・気持ちよく過ごしていただけるように毎日の清掃、明るい雰囲気を作っています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%		定期的に支援会議をしています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%		・ご家族の意向を聞き取るためにアンケートを実施し、随時ご利用についてのご意見をお聞きし、業務改善に動いております。 ・利用者サービス計画にねらいや視点等に加え、保護者への報告方法を改善しています。 ・昨年のアンケートを元に保護者への療育内容の報告書を行うこととしました。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%		ホームページに公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		・職員各自が研修会や勉強会に参加し、資質向上スキルアップを図っています。 ・月1回の事業所内研修、定期的な外部研修への参加の実施しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%		・送迎時にも保護者より子どもの様子を聞き取るなどしています。 ・スタッフ間で支援会議を実施し共有した上で計画を作成しております。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%		事業所独自のアセスメントシートを作成して使用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%		ガイドラインの支援内容から一人ひとりに合わせて児童発達支援計画を作成し、支援計画に沿って支援を行なうようになっています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%		チームで支援会議を行い、児童発達支援管理責任者と担当者が個別の支援計画を作成し支援計画に沿った療育を行なっています。	全体的には、計画に沿っているが、まだ取り入れられていない部分もあるので、更に意識の向上が必要である。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		・児童発達支援管理責任者と担当者が一緒になって活動プログラムを立案しています。 ・毎月、必ずチームで会議を行なっています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%		・年間プログラムを立てた上で、月間プログラムで活動内容を決めています。 ・季節に応じた活動内容を考えて実施しています。	固定化して安心して参加できるプログラムと、発達に応じたプログラム活動を実施しています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせる支援計画を作成しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		・その日に行われる子どもの確認、支援の内容や役割分担については必ず行なっています。 ・毎朝、ミーティングを行い、役割分担を確認しています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%		その日の出来事と捉え方、対応方法等、必ず話し合い情報交換をしています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		・身辺自立、活動内容を細かく項目を分けて記録を取っています。 ・支援の記録は徹底するとともに、支援の検証や改善に努めています。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%		6ヶ月ごとのモニタリングや支援計画を見直し支援計画を作成しています。		
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%		児童発達支援管理責任者が会議に参画しています。		
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%		関係機関とは情報交換や事業所の内容もお知らせして連携をとった支援を行なっています。		

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%		現在は該当がありませんが、関係機関との連絡体制は整えています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%		現在は該当がありませんが、医療機関との連絡体制は整えています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%		必要に応じて保育園、幼稚園など情報交換を行い相互理解を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%		・必要に応じて小学校(特別支援級)など情報交換を行い相互理解を図っています。 ・まださらに連携を図るべき部分があると思います。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%		他事業所と連携を深め、研修の参加や助言を受けています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%		・今のところ導入していませんが、今後必要に応じて導入していく予定です。 ・外出先で出会うことがあるが改めての機会は設けられていません。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	100%		子ども部会への参加は積極的にしています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		・こちらでの状況はできるだけ伝えていきます。 ・随時、保護者から子育ての悩み等に対する相談に応じ、助言と支援を行なっています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	50%	50%	導入段階として、行事や療育にお誘いし、信頼関係を築く努力をしています。	・厚生労働省認可の保護者支援プログラムの資格取得しましたので、今後積極的にペアレント・トレーニングを実施していきます。
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%		契約時に運営規定・利用時の内容について丁寧に説明しています。
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%		ガイドラインに沿って支援を行なっていくようにしています。	
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		・連絡帳への記載や直接悩みや様子をお聞きした時は丁寧に対応しています。 ・随時、保護者から子育ての悩み等に対する相談に応じ、助言と支援を行なっています。	
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%		保護者同士の交流の場を今後検討していきます。	
36		子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%		保護者からの申し出があった場合は、迅速に対応しています。	
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%		毎月、活動の報告と合わせて、次月のプログラムの内容をお知らせしています。	
38		個人情報の取扱いに十分注意している	100%		個人情報の取り扱いには事前に説明して納得した上で同意書を提出していただくとともに、十分注意しています。	
39		障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%		利用者、ご家族ともに意思疎通・情報交換のために細心の配慮を行なっています。	
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50%	50%	地域活動に参加しています。	コロナ禍という事で今年は交流する機会が少なかったが、落ち着いたら実施していきたい。
非常時等の対応		41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%		契約時にご説明するとともに定期的に想定した訓練を実施しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%		年に3回以上実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	100%		アセスメント時に子どもの状態を聞くとともに保護者よりそのような対応については確認をとっています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%		事前に保護者から聞き取り調査をして対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%		事例集を作成して事業所内で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%		職員間の研修会を定期的に実施しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、細緻的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%		契約時に、説明しています。	児童発達支援計画には記載していませんが、生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き行動を制限する行為は行いません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。